

令和8年8月28日

「ト一横」等における青少年・若者の
被害等の防止に係る情報連絡会
(第7回)

東京都 都民安全総合対策本部 総合推進部 都民安全課



東京都は、いわゆる「ト一横」問題について、
第33期東京都青少年問題協議会答申に基づき、3つの視点から施策を実施

- (1) 被害等のリスクを抱える若者
- (2) 加害者となり得る悪意のある大人
- (3) 被害場所等となり得る空間

目次

- 令和7年度
相談窓口「きみまも@歌舞伎町」の取組
- 令和8年度
相談窓口「きみまも@歌舞伎町」の取組
- 令和7・8年度
相談窓口以外の取組
- 取組の方向性について

きみまも@歌舞伎町は東京都の相談窓口です。



「トー横」と呼ばれる地域に居場所を求める若い世代の悩みに対して、専門の相談員がサポートします。

安全な相談場所：歌舞伎町周辺の若者たちに、安全で、安心して相談できる場所を提供します。

相談サポート：軽食や無料Wi-Fi、充電器などがあり、ひと休みしながら信頼できる人と話せます。

セーフティネット：若者の悩みや問題について、行政機関や支援団体とともに解決を図ります。

対象者：未成年から39歳までの青少年・若者（家族の相談も可能）

利用時間：火～土曜日の15時～21時（年末年始、祝日を除く）

スタッフ：社会福祉士や心理士、看護師などの相談員が対応

場所：新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康プラザハイジア17階



公式HP



～若者たちが抱えている課題の例～

- ・家庭や学校のトラブルにより、居場所を見つけることができない。
- ・仕事や住まいが定まらず、安定した暮らしができていない。
- ・性被害や金銭トラブル、暴力など、犯罪等のリスクにさらされている。
- ・生きづらさを抱え、オーバードーズ（市販薬の乱用）やリストカットをしている。



若者たちの、犯罪被害の防止や悩みの解決を目指しています。

皆さまのご協力をお願いします。

一人ひとりと生きるまち。



歌舞伎町に集まる青少年・若者への支援体制

きみまもから支援機関につなぐ流れ

歌舞伎町広場など

様々な悩みを抱え
歌舞伎町を訪れた
青少年・若者への
声かけ



法テラス
医療機関
等とも連携

(抱える悩みや課題)

生活困窮
住居不安定

家族不和・DV
児童虐待

オーバードーズ
飲酒・喫煙等

希死念慮
不安、リスク

性被害、売春
予期せぬ妊娠

金銭トラブル

昼職希望

いじめ
学習面の悩み

(主なつなぎ先)

【福祉】

児童相談所

生活福祉・福祉事務所

自立支援施設

女性相談支援センター

女性支援・DV支援

女性支援NPO

青少年・若者支援NPO

【保健・医療】

医療機関・救急

心療内科・精神科

薬物等依存専門機関

こころの健康相談窓口

クリニック

【就労・雇用】

ハローワーク

Tokyoチャレンジネット

自治体就労雇用窓口

サポステ

【教育】

教育相談センター

不登校支援NPO

【司法・被害者支援等】

警視庁・所轄警察署

法律相談

更生保護施設

犯罪被害者相談

消費生活センター

地域をパトロールし、
青少年・若者に声かけ
→ 必要に応じてきみまもへ誘導

「きみまも@歌舞伎町」では利用者に雑談しながら過ごしてもらい、来所を重ねる中で相談員との信頼関係を構築。複雑な課題が見えてきた中で、利用者の状況に応じて、福祉、保健・医療、就労、教育など専門の支援機関につないでいる
※ 必要に応じてつなぎ先との連絡調整や同行支援、フォローアップも実施

令和7年度 相談窓口「きみまも@歌舞伎町」の取組

令和7年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

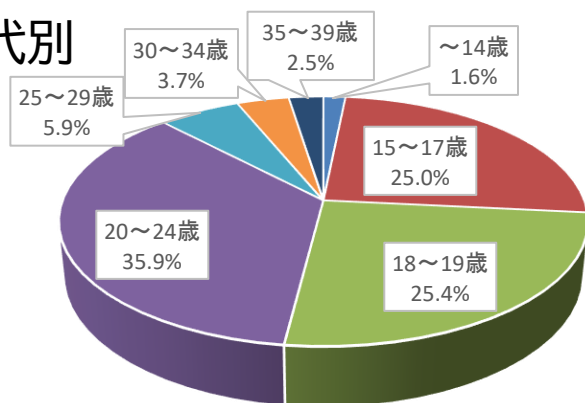
集計: 令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

※ 数値はのべ数
統計の構成比の数値は、四捨五入しているため、
内訳の合計が100%にならないことがある。

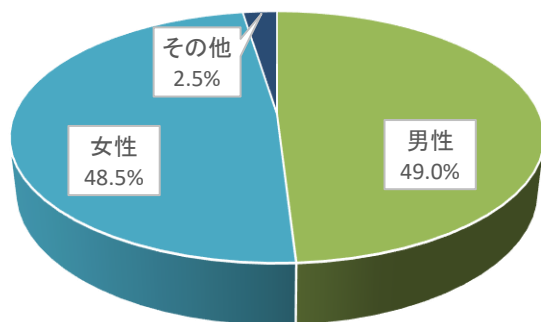
・利用者数(全体)

13,018人
(52人/1日)

・年代別

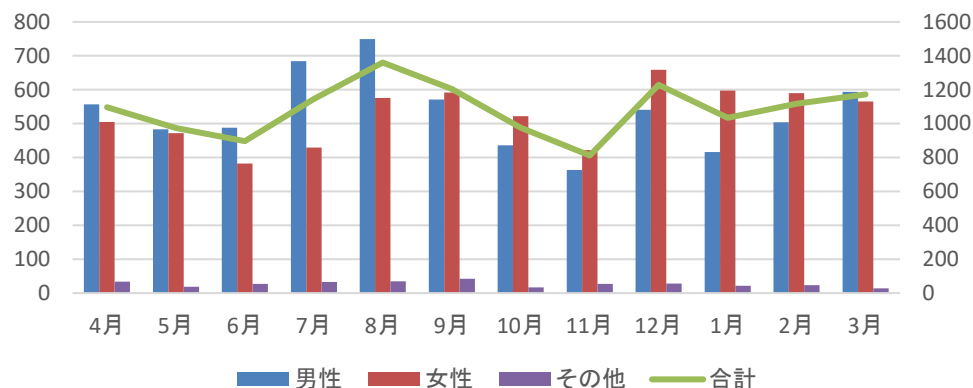


・性別



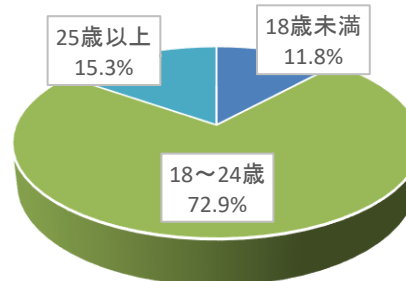
男女間でほぼ同率

・利用者数(月別)

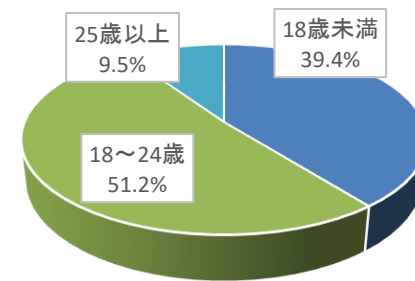


18歳未満が3割弱、10代で5割強
20～24歳が最も多く、3分の1強を占める

年代別(男性)



年代別(女性)

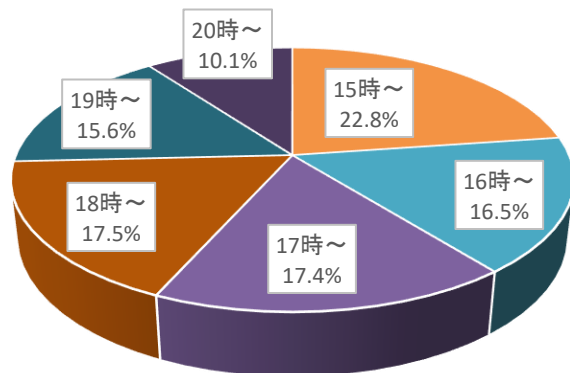


男性は18～24歳の割合が非常に高い
女性は18歳未満が約4割

令和7年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

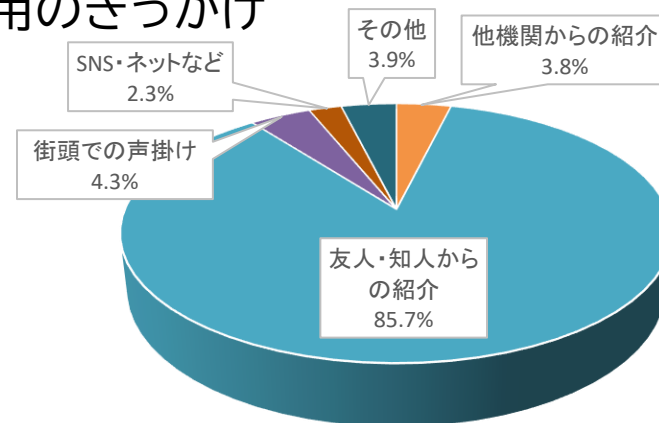
集計: 令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

・ 時間帯別来所数



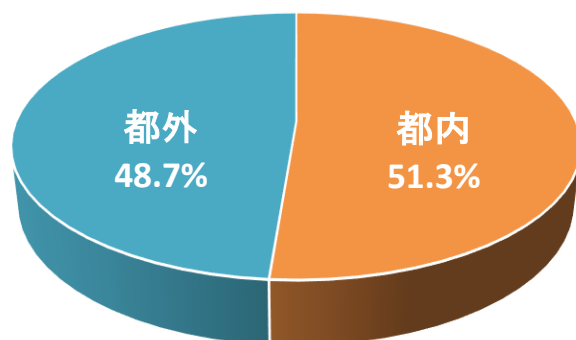
来所時間がバラけている傾向はR6と同様だが、
遅めの来所がやや増えている

・ 利用のきっかけ



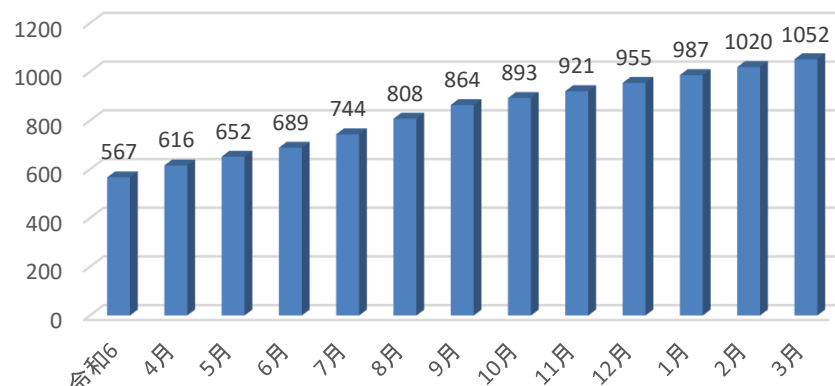
R6に比べ、友人・知人からの紹介の割合が
さらに増えている

・ 居住地



都外/都内は、ほぼ同率

・ 登録状況の推移(累計)



今年度も、新規登録は着実に増加

令和7年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

集計: 令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

○ 外部の支援等へのつなぎ

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活福祉	9	4	5	5	5	5	7	7	14	16	16	22	115
就労・雇用	0	0	3	1	1	0	1	0	2	4	0	1	13
保健・医療	3	9	5	5	5	9	7	8	8	12	17	12	100
民間支援団体	3	6	3	1	1	1	2	5	0	0	1	0	23
警察	3	4	3	3	2	2	0	3	7	1	4	2	34
救急要請	1	1	3	2	1	1	0	0	1	1	0	1	12
児童相談所	1	0	1	2	0	0	1	2	5	7	4	1	24
教育	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	1	7
その他	2	2	3	2	0	1	3	2	2	2	5	10	34
合計	22	26	26	21	16	19	21	28	39	45	49	50	362

【つなぎ先の例】

○ 生活福祉 …… 各自治体の福祉事務所、更生施設

○ 就労・雇用 …… ハローワーク、自治体の就労支援窓口

○ 保健・医療 …… 無料低額診療事業実施の医療機関、心療内科・精神科

○ 民間支援団体 …… 若年女性を支援する団体、性被害者を支援する団体

そのほか、未成年利用者の居住自治体における児童相談所・子ども家庭支援センター、警察署 など

令和7年度における対応事例(抽出)

DVを受け、他県から避難した女性（20代後半）

- 他県在住。DV歴のある夫の暴力が妊娠を機にさらにひどくなり、地元の警察に相談したところ、実家に帰るよう促される
 - 実家でも家族からの精神的・身体的暴力があり、歌舞伎町へ逃げ、きみまもに保護を求めてきた(土曜日の夜)
- 
- 警察への相談を提案するも、本人が拒否
 - 女性支援団体のシェルターで週末を過ごし、週明けにきみまもスタッフ同行のもとで自治体の生活福祉課へ
 - 数か月後、女性が赤ちゃんを連れて来所、スタッフに感謝の言葉を伝える

昼職を希望し、介護資格に挑戦した男性（20代前半）

- 前年度からの利用者。歌舞伎町で体験入店のホストをしながら生活してきた（寝泊りは主にホテルやネットカフェ）
 - 「このままではいけない」との思いから、昼職をしたいとの相談
- 
- 就労支援事業の介護職コースに興味を示し、挑戦を申し出たため、入学を調整
 - きみまもには継続的に来所しているため、生活面の助言等で支援
 - 同コースを修了、無事に資格を取得し、現在は介護施設で就業をしている

令和7年度 きみまも@歌舞伎町のトピック

ト一横文化祭への協力（8月24日）

- 東京青年会議所 新宿区委員会が主催
若者の自己肯定感を向上させるきっかけとすることが目標
- 当日は、42名のきみまも登録者がキッチンカーの手伝い
ボランティアとして参加
- 参加者からは「楽しかった」、事業者からも「ト一横キッズのイメージが変わった」など
肯定的な感想が寄せられた
- 令和8年度も、キッチンカー等の手伝いのほか、絵画・クラフト展示などで参加予定



こども家庭庁「若者支援に関するオンラインシンポジウム」（9月24日）

- 地方公共団体や民間の若者支援団体を対象とした、こども家庭庁の
オンラインシンポジウムに登壇。約300人が参加
- 実施後のアンケートでは、きみまもの若者に寄り添う姿勢、安心できる
場の提供を評価する声が多数寄せられた



令和7年度 きみまも@歌舞伎町のトピック

ピアノの導入などアートの活用（11月～）

- 全国の困難を抱える子どもや支援団体・施設などに音楽を届ける「100万人のクラシックライブ」の厚意により、電子ピアノを設置
- 設置初日から楽譜なしでクラシック曲を演奏する利用者があるなど、好感触。よりよい場づくりやイベントへの活用が期待される
- 今後は、絵画・クラフトなどアートの要素の活用も検討していく



季節のイベント(通年)

- 季節の催しとしてさまざまなイベントを実施
- 季節感を味わえる飾り付けの中で、相談員や仲間とともにゲーム等を楽しんだ
- カードには、様々な要望のほか、きみまもへの感謝、自身や周りの幸せを願う言葉などが書かれていた



年末年始対策（12月下旬）

- 年末年始でも利用できる相談窓口や食料支援情報を記載したWEBページを作成、利用者が簡単にアクセスできるよう工夫
- 12月後半に、WEBページを記載したカードと食品・使い捨てカイロなどを詰め合わせた「年越し袋」を利用者に配布



令和7年度 きみまも@歌舞伎町の運営(まとめ)

- きみまも@歌舞伎町は、若者にとって安心してひと息つける場であり、セーフティーネットへつながる(支援ヘスロープをかける)窓口として、一定の役割を果たしている

1日の利用数(52人)は前年度(42人)を上回り、登録数も着実に増加
相談員との信頼関係が構築され、具体的な支援につながる事例が増加

- 「ト一横」に集まる若者の多くは、生きづらさや困難を抱えながらも、人とのつながりを求めている、きみまもに対するニーズは高い
- 若者たちの抱えている困難は、犯罪・トラブルにかかるリスクや希死念慮・オーバードーズ等に現れる心身の課題、生活困窮など、複合的で一朝一夕には解決しないものが多い

「安全」「支援」の両面から、継続的に取組を充実していく

令和8年度 相談窓口「きみまも@歌舞伎町」の取組

令和8年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

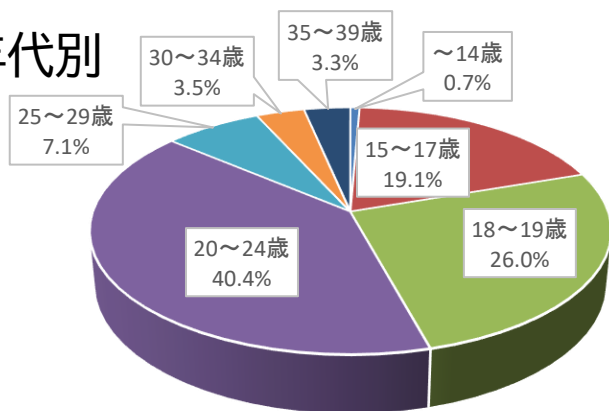
集計: 令和8年4月1日から
令和8年6月30日まで

※ 数値はのべ数
統計の構成比の数値は、四捨五入しているため、
内訳の合計が100%にならないことがある。

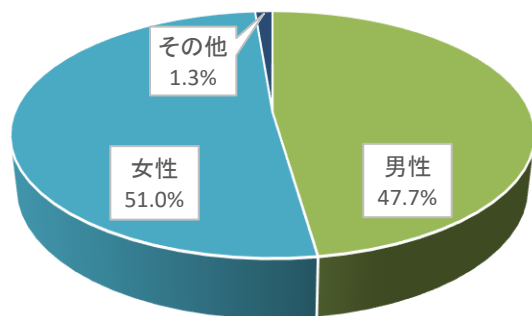
・利用者数(全体)

3,602人
(58人/1日)

・年代別

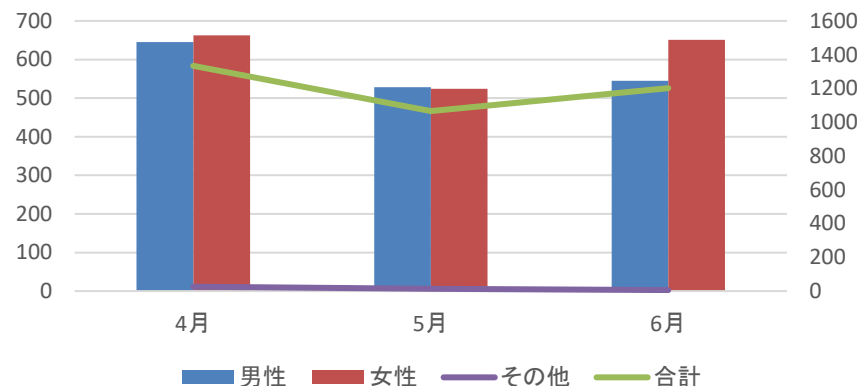


・性別



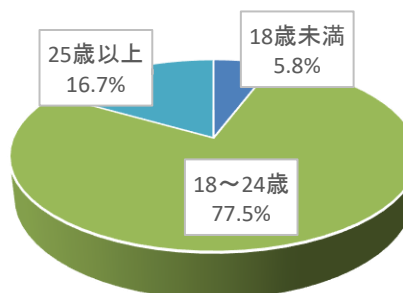
男女間でほぼ同率

・利用者数(月別)

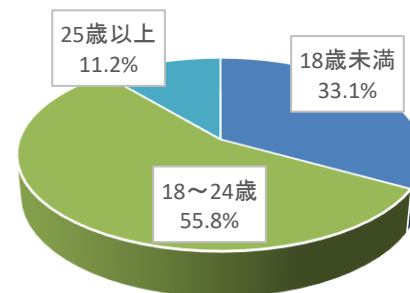


18歳未満が2割弱、10代で4割強
20~24歳が最も多く、4割を占める

年代別(男性)



年代別(女性)

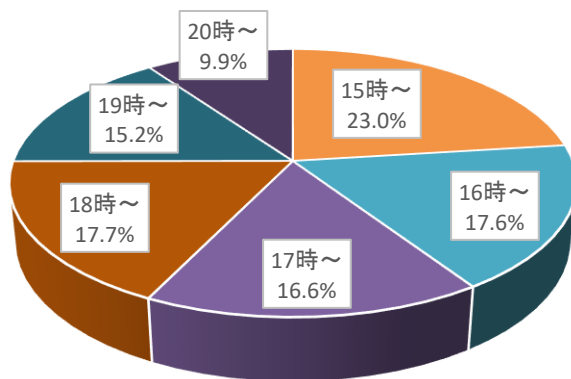


男性は18~24歳の割合が非常に高い
女性は18歳未満が3割強

令和8年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

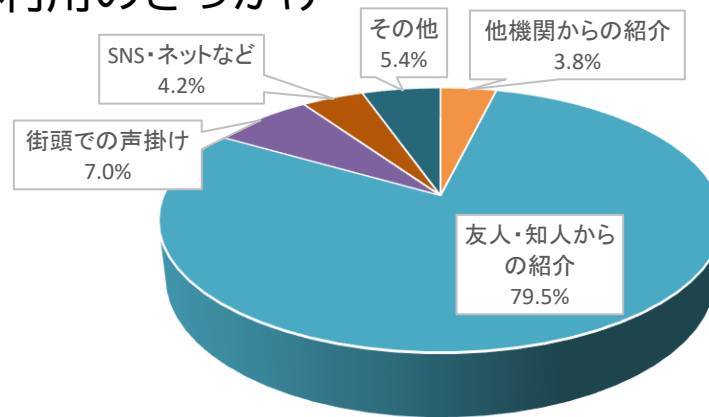
集計: 令和8年4月1日から
令和8年6月30日まで

・ 時間帯別来所数



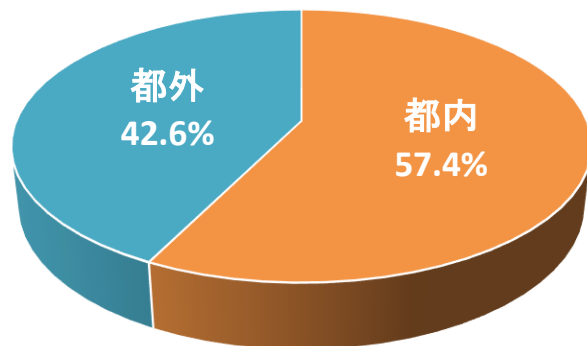
R7以前と同様に来所時間がバラけている傾向
開所と同時に来る利用も多い

・ 利用のきっかけ



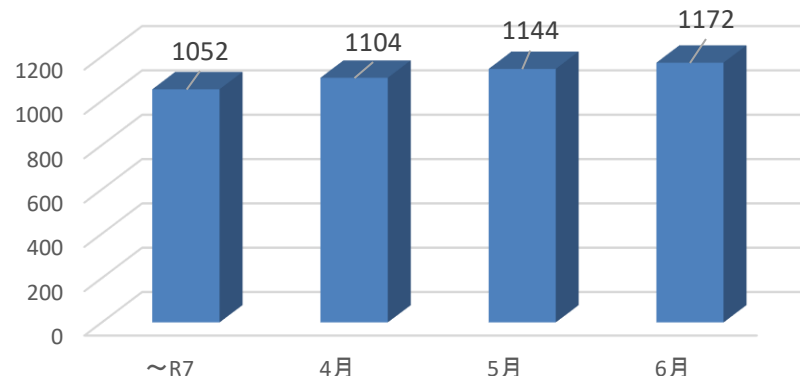
引き続き友人・知人からの紹介をきっかけ
とする利用が多い

・ 居住地



R7に比べ都内の割合が増加

・ 登録状況の推移(累計)



今年度も、新規登録は着実に増加

令和8年度 きみまも@歌舞伎町 の運営状況

集計：令和8年4月1日から
令和8年6月30日まで

○ 外部の支援等へのつながり

区分	4月	5月	6月	合計
生活福祉	3	9	21	33
就労・雇用	1	0	1	2
保健・医療	4	5	14	23
民間支援団体	1	0	2	3
警察	2	8	4	14
救急要請	0	1	0	1
児童相談所	1	0	0	1
教育	0	0	0	0
その他	2	3	4	9
合計	14	26	46	86

【つながり先の例】

- 生活福祉 … 各自治体の福祉事務所、更生施設
 - 就労・雇用 … ハローワーク、自治体の就労支援窓口
 - 保健・医療 … 無料低額診療事業実施の医療機関、心療内科・精神科
 - 民間支援団体 … 若年女性を支援する団体、性被害者を支援する団体
- そのほか、未成年利用者の居住自治体における児童相談所・子ども家庭支援センター、警察署 など

令和8年4月～6月における対応事例(抽出)

自立に向けて長期的な支援を続けている女性（20代前半）

家庭問題やアルコール等の依存症の影響で歌舞伎町に頻繁に通い、不安定な生活を送っていた女性が、相談員や友人との出会いをきっかけに前向きな気持ちを持ちはじめ、自立に向けた相談を始める

- 人とのつながりができたことで一時的に生活状況は改善するが、つながりが切れてしまうと再び以前と同じような不安定な生活に戻ってしまう
- 身近に頼れる人もいなく、周囲の人や環境の影響を受けやすい状況にあることから、つながりを維持するため相談スタッフが継続して支援を行っている

不安が解消され、目標を持ち始めた女性（20代前半）

精神的不調や人間関係に悩みを抱え、長い間歌舞伎町で過ごしながら窓口をよく利用している女性が「お金を借りた覚えがないのに、知人から何度も返済を求められ困っている。」との相談

- 相談員が傾聴しながらメンタルケアを実施するとともに、連携している法テラスの弁護士と対応。状況を整理し、本人に支払う義務がないことを専門的な立場から丁寧な説明
- 相談を通じて、本人が悩んでいた金銭トラブルは少しずつ解消。現在は飲食店でアルバイトをするとともに、大学進学を目指している

令和8年度 きみまも@歌舞伎町 4～6月 のトピック

女性専用スペースの設置（4月～）

- 利用者自身が希望に応じて選択できるようにし、女性特有の悩みや相談について安心して話しやすい環境を構築
- 利用者からは「騒がしいのが苦手なので利用している。」「静かに勉強がしたい。」「個室で相談するのはハードルが高いけど、こっちなら話しやすい。」という声があった。



国立精神・神経医療研究センターとの連携(4月～)

- 施設を利用する若者の多くが障害や虐待、トラウマなどの「生きづらさ」を抱えており、自傷・オーバードーズの常態化や自殺リスクの高さが大きな課題となっている
- きみまもとNCNPが連携し、利用者に対するより適切な支援によってリスクを低減するとともに、オーバードーズ等に関する若者の支援ニーズの把握やノウハウ開発を行っていく



窓口運営で得たデータの分析等(4月～)

- 約2年間で蓄積された「きみまも@歌舞伎町」における対応ケースや定量的及び定性的データ、支援ノウハウ等について、有識者等を交えた調査・分析を実施
 - 歌舞伎町エリア等の状況を地域団体や関係機関等にヒアリング
- 調査研究報告として取りまとめ、様々な機会を捉え情報を発信予定

● 犯罪・トラブルへの対処

闇バイトや口座売買、仲間内の金銭トラブル、売買春、性トラブル
法・規範知識の少なさから、被疑者にも被害者にもなりやすい状況

● 利用者の希死念慮への対応

自死や事故などに関連する発言が多い
1人の死が、人間関係を通じて大きな影響を及ぼすことも

● オーバードーズ(OD)や心身の不調への対応

生きづらさから逃れるためのリストカット・ODが非常に多い
発熱、性感染症などの体調不良、精神科への受診が必要なケースも多数

● 支援の困難さによるスタッフの負担増加

深刻・複雑なケースほど、一筋縄にはいかず、粘り強い支援が必要
寄り添って支援している中で、利用者との距離感も課題に

令和7・8年度 相談窓口以外の取組

相談窓口以外の取組の状況

SNSを活用したターゲティング広告

- ・ 青少年・若者に訴求力のあるインフルエンサーを起用し、歌舞伎町の裏側に潜在する危険をわかりやすく伝えるショート動画を制作
- ・ 近年社会問題となっている、市販薬等のオーバードーズに関する注意喚起動画を制作
- ・ ターゲティング広告により、犯罪事例を掲載した各種ホームページに遷移を促し、注意喚起



潜在する危険を伝える啓発動画



オーバードーズに関する啓発動画

街頭ビジョンによる啓発

- ・ 学校や家庭に居場所がなく、歌舞伎町を訪れた青少年・若者に向け、きみまも@歌舞伎町周知動画を制作
- ・ 歌舞伎町の街頭ビジョンで放映し、悩みや不安を抱える青少年・若者へアプローチ
(SNS用動画もあわせて放映し、注意喚起を実施)



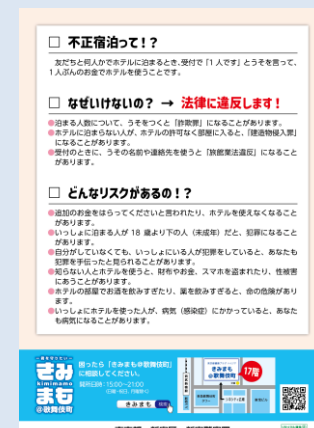
きみまも@歌舞伎町PR動画



歌舞伎町タワービジョンで放映

被害場所等となり得る空間の対策

- ・ ホテル等における不正宿泊行為についての啓発チラシを作成
- ・ 警視庁、新宿区と連携して青少年・若者に配布



相談窓口以外の取組の状況

情報連絡会の開催

「ト一横」をはじめ歌舞伎町界隈における青少年・若者の犯罪被害等の防止に関する情報について
関係機関で共有するための情報連絡会を開催
(大阪市・福岡県・福岡県警がオブザーバー参加)

第5回・・・令和7年9月4日 参加数： 9団体・部署

第6回・・・令和8年2月20日 参加数： 11団体・部署



歌舞伎町周辺のパトロールへの参加

「ト一横」問題や大久保公園周辺の売春対策にかかる
防犯活動の一環として、地元自治会及び新宿区、
警視庁等と連携し、歌舞伎町周辺におけるパトロール
活動を定期的実施（月8回程度）



歌舞伎町対策協議会への参加

歌舞伎町における治安、防犯、福祉、環境等に係る課題に効率的
効果的に対応するため、新宿区、東京都、警視庁合同の協議会
(歌舞伎町対策協議会)を令和8年6月に設立。

歌舞伎町対策について具体的な検討を行っていく。

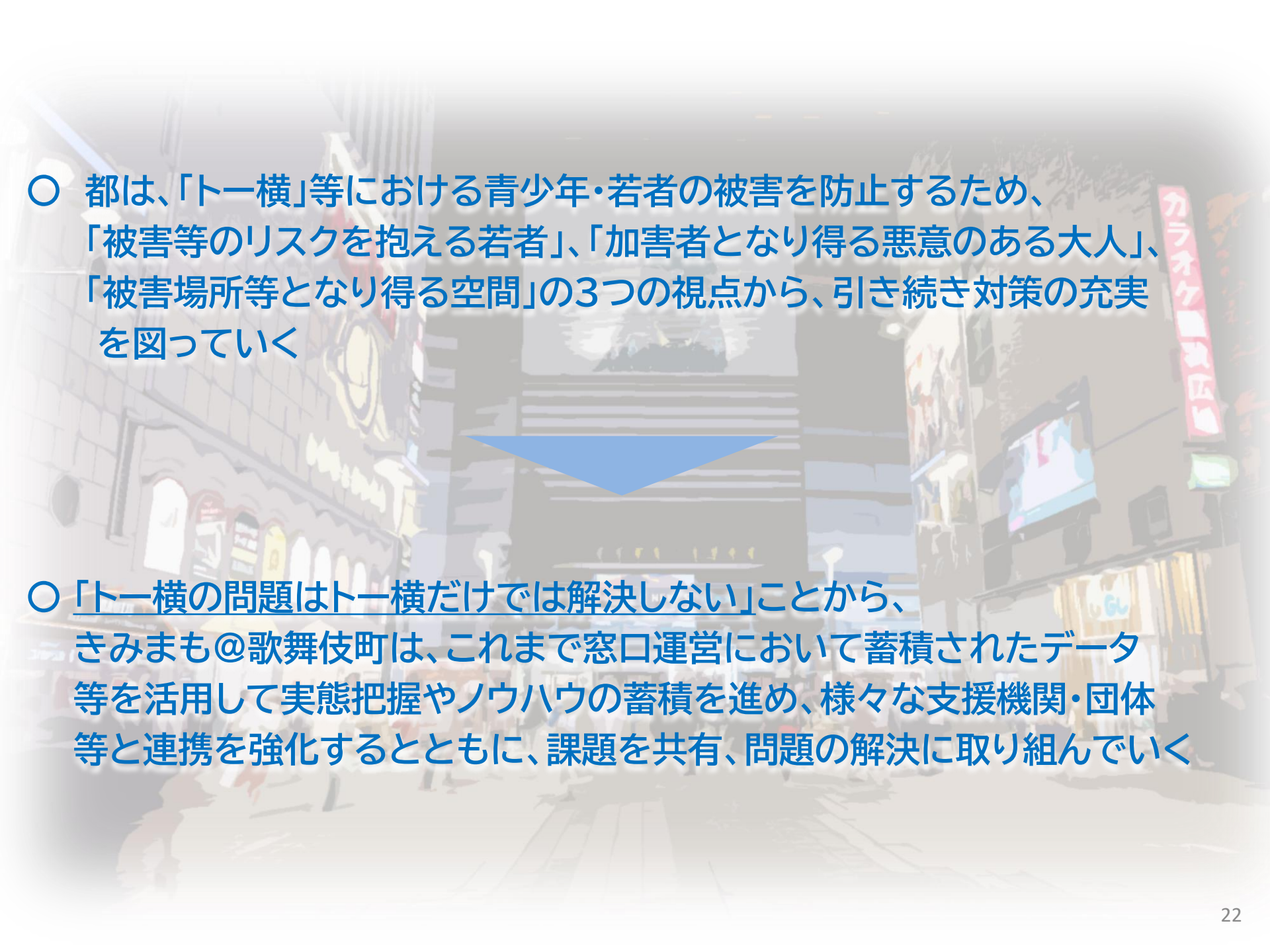
東京MX

“ト一横キッズ”を犯罪から守れ 新宿区・東京
都・警視庁が歌舞伎町対策協議会を設置

2025.06.20(土) 17



吉住新宿区長公式X

- 
- 都は、「ト一横」等における青少年・若者の被害を防止するため、「被害等のリスクを抱える若者」、「加害者となり得る悪意のある大人」、「被害場所等となり得る空間」の3つの視点から、引き続き対策の充実を図っていく

- 「ト一横の問題はト一横だけでは解決しない」ことから、きみまも@歌舞伎町は、これまで窓口運営において蓄積されたデータ等を活用して実態把握やノウハウの蓄積を進め、様々な支援機関・団体等と連携を強化するとともに、課題を共有、問題の解決に取り組んでいく